



2026 年 4 月 1 日 第 47 号

J P 労組新潟連協退職者の会
〒951-8799 新潟市中央区東堀通
七番町 1018 新潟中郵便局内
発行責任者 会長 山田 太郎



「第 1 回支部代表者会議・第 2 回拡大幹事会では出席数 26 名を確認後、山田会長より、現下の政治情勢と喫緊に迫った解散総選挙への対応要

請、「小沢まさひと」選挙総括、退職者の会中央幹事会から「検討を要する課題」が提案された背景と経緯及び今後の進め方、会員拡大に向けた現退一体の取り組みについて挨拶があった。続いて関川連協議長から、郵政事業の当面す

第 1 回支部代表者会議・第 2 回拡大幹事会開催 !!

～ 第 1 回支部代表者会議・第 2 回拡大幹事会 議題 ～

< 報告事項 >

- 1 活動報告
- 2 信越地方退職者の会第 1 回幹事会概要
- 3 新潟県退職者連合第 2 回拡大幹事会概要
- 4 各種署名の集約状況

< 協議事項 >

- 1 会員拡大の取組状況と拡大インセンティブの支給
- 2 「検討を要する課題メモ」の議論と進め方

< 周知事項 >

- 1 「小沢まさひと」選挙総括
- 2 みらい研学習会・新春の集い日程と運営
- 3 第 3 回幹事会・支部事務局長合同会議概要
- 4 新潟連協退職者の会第 12 回総会概要
- 5 自払いスケジュール
- 6 今後の日程

する課題及び 26 春闘のスケジュール感と概要について挨拶を受けた。

議事（左記）では「検討を要する課題メモ」について活発な意見交換が行われるとともに、総選挙勝利に向けて意識統一をはかった。

【関川議長あいさつ】



【福引抽選会】



も登場するなど福引抽選会も行われ盛会裏のうちに終了した。

J P 労組新潟連協「新春の集い」盛大に開催される!!

みらい研政治学習会終了後、来賓 22 名、現役 45 名、退職者の会 24 名の計 91 名の参加により、新潟連協「新春の集い」が盛大に開催された。関川連協議長の開会挨拶の後、連合新潟小林会長をはじめ、8 名の来賓からご挨拶をいただき、乾杯後、新潟選挙区選出 5 名の立憲民主党の衆議院議員から総選挙勝利に向けた決意が示された。歓談では現退で親睦と交流を深める中、昨年に続き恐竜

みらい研合同政治学習会の開催！



【西村ちなみ衆議院議員講演】

新潟連協現合同「みらい研政治学習会」が退職者の会 26 名、現役 40 名、来賓 2 名の計 68 名の参加者により開催された。
冒頭、新潟連協関川議長よりみらい研加入と日頃のご協力に対する御礼、山田会長からは今学習会の趣旨と位置づけについて挨拶があった。
続く講演は西村ちなみ衆議院議員（新潟一区選出・J P 労



組政策フォーラム議員）が、当日結成された新政党「中道改革連合」について現在の対応状況が語られた後、「郵政民営化法等の一部改正案および政府の働き方改革に対する立憲民主党の考え方について」と題し、約 60 分にわたり熱弁をふるわれた。
主たる内容は、郵政三事業のユニバーサルサービスの確保と郵便局ネットワークの活用による地域住民の生活の支援のため、〇ゆうちょ銀行、かんぽ生命の株式の処分の見直

第 51 回衆議院議員総選挙結果！！

1 月 23 日、通常国会冒頭で衆議院解散、総選挙日程が明らかとなり、2 月 8 日の投開票まで戦後最短の選挙戦に突入した。一方、立憲民主党と公明党は 1 月 16 日、新党「中道改革連合」を結成し、比較第一党をめざし戦いを繰り広げた。結果は高市内閣の高支持率を背景とした旋風に晒され、自民 316 議席、中道 49 議席で惨敗を喫した。しかし、「共生と包摂」を標榜する理念は働く者、生活者に立脚したものであり、今後の議論や政策提言、政権へのチェック機能を注視していきたい。豪雪・極寒の過酷な気象条件の中、各選対責任者やスタッフとしてご尽力いただいた支部役員、応援をいただいた会員・ご家族に感謝申し上げます。

し、〇地域貢献業務の実施、地域貢献基金の設置、〇郵便局ネットワーク維持の支援に向けた交付金の拡充など、6 点における国会論議の現状、及び働き方改革に対する立憲民主党の評価について説明を受けた。
3 名の方から意見質問が出された後、西村議員から回答が示され会場全体で理解を深めたところである。

<新潟選挙区結果>

選挙区	氏名	政党	得票数	惜敗率	結果
新潟 1 区	西村智奈美	中道改革連合	73,167	79.0%	比例当選・8 期
新潟 2 区	菊田真紀子	中道改革連合	85,602	76.5%	比例当選・9 期
新潟 3 区	黒岩 宇洋	中道改革連合	76,452	65.9%	落選
新潟 4 区	米山 隆一	中道改革連合	62,446	58.2%	落選
新潟 5 区	梅谷 守	中道改革連合	79,294	76.0%	落選

会員拡大に全力を挙げよう!



3月1日(日)午前、「ホテルニューオータニ長岡」において新潟連協退職者の会第3回幹事会・支部事務局長合同会議を合計21名により開催した。主題は退職者の会中央幹事会提案の「検討課題メモ」に関する意見交換と新潟連協退職者の会の意見を集約することであった(連協意見は4頁に記載)。

午後からは、信越地方本部主催の「現退合同会議」を退職者の会会員19名、現役24名、計43名の参加者により開催し、会員拡大に向けた意識統一をはかった。

始めに新潟連協関川議長から現役組織数の現状について、また連協退職者の会山田会長からは先般施行された第51回衆議院総選挙の結果と今後想定される政治状況、及び会員拡大に向けた現退一体の取り組みについて挨拶があった。



〈Aさんは退職者の会で対応するよ〉

全体会議終了後、支部別に「現退打合せ会(分散会)」を開催した。3月末60歳役職定年を迎える組合員、並びに現在の協力会員の今後の働き方について認識合わせを行い、支部・分会における行動を確認後、それぞれ解散となった。



〈支部別:真剣な打合せ模様〉



第3回幹事会・支部事務局長会議
及び 現退合同会議を開催 !!

《 要 求 項 目 》

I. 組合員一人ひとりの生活を守るための賃金(年収)の維持・向上に向けた要求

1. 正社員の定期昇給を完全実施すること
2. 正社員の一時金を年間4.6月とすること
3. 正社員の基準内賃金を11,000円引き上げること
4. 時給制契約社員の時間給を70円引き上げること
5. 時給制契約社員の一時金係数を引き上げること

II. 事業を持続させていくための労働力確保等 (略)

III. 安心して働き続けることができる環境整備等

1. ワーク・ライフ・バランスの推進に向けて、時間外労働の縮減をはかるとともに、一日の所定労働時間を7時間45分にすること
2. 希望する社員が働き続けることができるよう、70歳までの就業機会を確保すること
- 3~5 (略)

J P トピックス

J P 労組は2月13日に東京都内において、第26回中央委員会を開催し、「2026春季生活闘争をはじめとする当面の取組み」等について議論のうえ、「2026春季生活闘争方針」を確立した。

2月20日、日本郵政グループ主要4社に対し、「2026春季生活闘争要求書」(左記)を提出し、3月19日の回答指定日に向け、全力をあげて交渉を展開している。

J P 労組退職者の会
「検討を要する課題メモ」の議論と進め方

J P 労組退職者の会中央幹事会より、組織運営に関わる課題について各級機関（地方・連協・支部）から検討していただくよう要請があり、信越地方退職者の会では、12 月に開催した第 1 回幹事会において今後の進め方について確認しました。

(1) 背景と経緯について

定年延長や雇用延長など社会情勢が変化する中で、発足当初の制度設計に齟齬が生じてきました。併せて会員の減少や高齢化も相まって組織運営の見直しが余儀なくされており、今回の検討はその上に立っての抜本的な見直しをするものです。

(2) 「検討を要する課題メモ」に関する新潟連協意見（左記）

「検討を要する課題メモ」に関する新潟連協意見

1. 慶弔制度について（両論併記）

- ・現行通り存続とする（理由はこれまでの人間関係や会員全体に行き渡る意味からも必要）
- ・存続とするが、香典は廃止し喜寿を倍増（5,000 円 → 10,000 円）とする（理由は予算減少への対応、及びご家族はいない、施設入所などでご家族と連絡を取ることが困難になることもあるなど）
- ・米寿（カタログギフト）は J P 労組中央本部の判断に委ねるが、可能な限り存続願いたい

2. 会費について

- ・交通費や会場費、郵送料等が高騰している現在、支部幹事会の回数や日当等も抑制し、組織運営を行っている現状にある。従って、年会費を 2,500 円 → 3,000 円とし、内訳として支部費を 1,000 円 → 1,500 円に 500 円増額する
- ・なお、会費値上げに対するアレルギーも少なからずあることから、議論経過や結論等について丁寧に説明していくことが肝要である

3. 中央幹事会役員数の見直しについて

- ・定数は現行通り 13 名とし、女性幹事は地本を設定せず、全国から数名程度の選出とする

4. 中央幹事会等、会議設定のあり方について

- ・予算が許容できるのであれば、現状認識を統一するため地方会長、地方事務局長と中央幹事による合同会議の開催を所望する

5. 会員資格について

- ・60 歳を超えた現職も退職者の会に加入とする制度は会員拡大に大きなメリットとなる
- ・一方、組合費と会費の問題や J P 労組の権利義務の規約も関係することから、クリアすべき課題も多くある
- ・現行の協力会員制度の周知徹底、理解浸透をはかることが重要ではないか

6. その他

- ・加入申込用紙は自払登録ができる様式に変更願いたい

(3) 今後の進め方について

- ① 概要について支部会長・事務局長と連協幹事へ文書周知
(12 月 19 日)
- ② 支部代表者・第 2 回拡大幹事会で意見交換
(1 月 16 日)
- ③ 支部幹事会等で議論の上、支部意見を連協へ報告
(2 月 16 日)
- ④ 新潟連協の意見を信越地方幹事会へ報告
(2 月 24 日)
- ⑤ 信越地方意見を中央幹事会へ報告
(3 月 2 日)
- ⑥ 第 2 回中央幹事会で地方意見を参考に
J P 労組中央本部と擦り合わせを行う
(3 月 23 日)
- ⑦ 各地方意見を集約し第 12 回全国総会で正式提案
(7 月 6 日)
- ⑧ 更に地方議論と往復運動を重ねるとともに
J P 労組中央本部と意識統一をはかる
(2026 年 7 月以降)
- ⑨ 第 13 回全国総会で決定
(2027 年夏予定)



長寿で健康 生き生きコーナー

〳 民謡（三味線）と共に 〵 新潟支部 多賀 七重さん（八二歳）

私が新潟市（当時は西川町）の高砂学級の民謡部に寄せていただいたのは、昭和55年の4月からで約45年も前になります。本部の先生に月1回民謡部に来て三味線を担当してほしいと言われて行き始めたのが、当時の西川荘でした。

先ずびつくりしたことは、部員の方々の多いことでした。130名位だったことを思い出します。演奏は毎月第一土曜日の1時30分からの2時間、30人位の合唱で唄うのがやっとの人数でした。当時はまだ歌謡部はなく、民謡・歌謡・舞踊の3部で芸能部と呼ばれており、後に何年かして歌謡部が誕生しました。民謡部から歌謡部へと移って、いく部員が絶え間なく続いて、指導する本部の先生も代わりました。

平成に入り民謡部も30人前後に落ち着いてきました。平成5年頃でしたが、尺八・三味線・太鼓と民謡の基本である伴奏で自分



の持ち歌を決めて練習するようになりました。年間を通すと、高砂学級の文化祭をはじめ研修会、慰問、忘年会、新年会で民謡を発表し、腕を磨いてきましたので、自分の持ち唄も相当数あると思います。現在は人数もごく少なくなりましたが、民謡には上限がありません。先輩の良い節回しは自分の唄に取り入れて、みんなで味のあるよい民謡に仕上げていきたいと思えます。また、平成26年には「越後傘ばこ盆唄保存会」を立ち上げ、会員は30人で活動しています。市内の西

川地区、3つの小学校と中学校4校から指導を依頼され子供達とのふれあいを大切に活動しています。まだ10年と短いですが、これからも健康に留意し、みんなで和気あいあい楽しみながら元気で活動していけたらと思います。

88歳「長寿のお祝い」

支部	氏名	支部	氏名	支部	氏名
新潟	大塩 玲子	西蒲原	小島 利夫	魚沼	平沢 アサ
	今井 功		吉田 友丁		酒井 正伊
	阿部 洋一		高村 和子		須田 利夫
	近藤 義輝		古澤 正志		市川 栄一
佐渡	浜田 稔	三条	坂内 千代子	上越	福山 三郎
	江添 岩雄		須佐 澄		江村 勉
下越	大脇 一栄	中越	松平 信一		涌井 省栄
	斎藤 運平		笠井 博		杉山 賢二
	荒木 恵子		宮島 林司		寺内 光枝
	井浦 健也		高野 正彦		藤井 忠雄
	海津 陽二		藤田 捷二		平野 登代子
新津	小柳 厚	魚沼	恩田 義雄		増田 寅治
	小林 カツ子		山崎 頼子		川原 昇
	松本 行弘		高野 信義		三浦 一芳
	斎藤 修二		川上 陽		牛木 邦郎
	山田 富喜雄		池田 信吉		伊藤 昭一
	佐々木 勝広		佐藤 常五郎		佐藤 直一郎
	斎藤 順子		牛木 嘉男		計

今年度の「長寿のお祝い」は、2026年4月1日から2027年3月31日までの間に88歳を迎えられる会員が対象となります。この間のご労苦に対し4月20日の郵政記念日に合わせ、J P 労組中央本部から記念品が上記の会員に届けられます。

お知らせコーナー

おめでとうございます

お悔やみ申し上げます

【敬称略】

慶事	月	お名前	支部
喜 寿	12月	加藤 順一	佐渡
		佐藤 和実	佐渡
		高橋 光雄	下越
		星野 清一	中越
		関 勝	魚沼
		青木 計五	上越
		中村 昭三	上越
	1月	中村 正	佐渡
		須貝 征末	下越
		武田 均	三条
		小黒 悟一	中越
		小林 正明	中越
		土田 春男	中越
		加藤 仁一郎	中越
		高野 正二	魚沼
		関川 正	魚沼
		那須 清	上越
	2月	岡本 廣行	上越
		内田 英和	上越
		鈴木 政二三	新潟
		小川 敏夫	下越
		島津 正一	下越
		平野 粹一	下越
		桜井 正平	新津
		若穂田 正	三条
		酒井 清一	中越
		前田 茂	中越
		野呂 一久	上越
井澤 輝行	上越		

月	お名前	支部	ご逝去日
10月	桜井 益樹	中越	15日
11月	山際 京子	新潟	7日
	高橋 春一	中越	7日
	田村 節子	中越	7日
	鳥島 久子	中越	9日
	渡辺 富貴子	中越	15日
	土田 波男	中越	18日
	石塚 俊英	佐渡	20日
	山本 セツ子	新津	24日
	武部 千工	中越	24日
	鳥島 健	中越	24日
	山本 澄夫	魚沼	27日
12月	布施 富平	新津	30日
	渡辺 孝三	新潟	2日
	菊部 梶一郎	新潟	9日
	神林 弘子	新潟	9日
	川見 ツネ	西蒲原	16日
	若林 久子	三条	17日
	矢野 秀栄	上越	20日
	中野 トイ	中越	22日
	宮下 丈夫	下越	24日
	中村 正	上越	25日
	丸山 久興	中越	26日
1月	坂田 ヒサ	西蒲原	4日
	二ノ倉 勉	上越	7日
	鶴間 繁隆	新潟	9日
	菊池 恒男	佐渡	12日
	本間 隆	下越	19日
	飯吉 勝身	上越	19日
	五十嵐 勝幸	新津	21日
	長谷部 健	新津	29日
	大矢 照夫	中越	31日
	佐藤 策一	下越	12日
2月	古沢 哲男	上越	14日
	朝倉 勇	西蒲原	22日
2025年	花沢 ウタ	新潟	7月27日
	永滝 利志男	中越	8月11日
	杉本 富男	中越	8月

雑感

◆ 何とも形容し難い鬱積した年。冬は厳しく、選挙は野党中道の内閣が解散総選挙である。田共代表は自分とどっちを内閣の具体的論点は示さず、策の略に打って出た。◆ 国民が選挙結果は何をもたらし、高市が選挙戦で言っていた論を二分することとは、憲法や非核三原則の改定をはじめとしたいわゆる「タカ派」に支持される政策を指すのだろうか。◆ 一般市民が主人公たり得る「リベラル」な社会を構築して抗うために、この様な政権にはつづくと思ふ。